

## 令和 2年度

## 事業報告書

### 1. 法人の概要

#### (1) 設置する学校

①奈良芸術短期大学	美術科	専攻科	
②橿原学院高等学校	全日制課程	普通科	美術科
③聖心学園中等教育学校	前期課程	後期課程	
	全日制課程	普通科	
④聖心幼稚園			

#### (2) 学校の入学定員

			入学定員(名)	定員(名)
①奈良芸術短期大学	美術科		130	260
	専攻科		20	40
②橿原学院高等学校	普通科	美術科	150	450
③聖心学園中等教育学校	普通科		80	480
④聖心幼稚園				160

#### (3) 学生生徒数の状況(令和2年5月1日現在)

奈良芸術短期大学	美術科	専攻科	計(名)	定員充足率
1回生	139	21	160	106.6%
2回生	109	13	122	81.3%
計	248	34	282	94.0%

橿原学院高等学校	普通科	美術科	計(名)	定員充足率
1年生	76	25	101	67.3%
2年生	122	21	143	95.3%
3年生	74	5	79	52.6%
計	272	51	323	71.7%

聖心学園中等教育学校	普通科	計(名)	定員充足率
1年生	56	56	70.0%
2年生	31	31	38.7%
3年生	45	45	56.2%
4年生	40	40	50.0%
5年生	43	43	53.7%
6年生	36	36	45.0%
計	251	251	52.3%

聖心幼稚園		計(名)	定員充足率
3歳児	17	17	42.5%
4歳児	20	20	33.3%
5歳児	16	16	26.6%
計	53	53	33.1%

(4) 役員・教職員の概要

役員の数

	人数(名)	任期
理事	5	3年
監事	2	3年
評議員	11	2年

役員

(令和3年3月31日現在)

	氏名	常勤・非常勤	兼職名
理事	平田 静太郎	常勤	
	平田 博也	常勤	短大 学長
	松本 邦夫	常勤	高校 校長
	喜多 一嘉	非常勤	会社 役員
	澤井 泰裕	非常勤	税理士
監事	秋山 好一	非常勤	
	松谷 富史	非常勤	

評議員

評議員	平田 静太郎
	平田 博也
	松本 邦夫
	久野 喜美代
	西山 晴夫
	平田 寛二
	山田 幸男
	澤井 泰裕
	喜多 一嘉
	萬谷 嘉男
	荒木 保幸

教職員

(令和2年5月1日現在)

	本務教員	本務職員	兼務教員	兼務職員	計
奈良芸術短期大学	20	23	82	7	132
檀原学院高等学校	33	7	6	1	47
聖心学園中等教育学校	35	3	12	0	50
聖心幼稚園	8	0	6	0	14
計	96	33	106	8	243

学校法人 聖心学園

## 中期計画

(令和2年度～令和6年度)

## 【学校法人】

### 聖心学園のあるべき姿の実現に向けて

- ① 経営ガバナンスの強化
- ② 教育内容の質の向上
- ③ 施設設備の整備充実
- ④ 組織力の強化
- ⑤ 情報発信力の強化
- ⑥ 財務内容の改善
- ⑦ 地域・産業界との連携推進

### … 建学の精神に基づく教育理念の追求・実現

### 具体的な行動計画

#### 1 経営ガバナンスの強化

### 施策

- ① 第1次中期計画の進行管理を徹底する
- ② 法人及び各学園の組織・運営体制を整備充実する
- ③ コンプライアンス体制・機能を強化する
- ④ 学園のリスクマネジメント体制・機能を強化する

#### 2 教育内容の質の向上

- ① より良い教育実現のため、教職員の能力を高める
- ② 教職員の安全衛生管理を推進する

#### 3 施設設備の整備充実

- ① 教育支援・学修支援の更なる向上を目指し、建物設備・情報通信インフラの整備充実を図る
- ② 安心・安全、省エネルギー化の学園作りを図る
- ③ 防災対策の充実を図る

#### 4 組織力の強化

- ① 教育連携を強化し、聖心学園の総合力を発揮する

#### 5 情報発信力の強化

- ① 広報活動を強化し、聖心学園ブランドの推進を図る
- ② 学園情報の発信力の強化を図る

#### 6 財務内容の改善

- ① 「中期財政計画」を作成し進捗状況を把握する
- ② 各学園の学生定数を充足し、学生納付金収入の確実な確保を図る。
- ③ 「中期財政計画」に沿い、経費の節減策を着実に実行する
- ④ 中期計画の最終年度における教育活動資金収支を改善する

#### 7 地域・産業界との連携推進

- ① 地域・自治体・産業界との連携・協働事業を支援する
- ② 地域社会と連携した生涯学習振興を支援する

# 【奈良芸術短期大学】

## 1 基本的な考え方

- ① 本学教育の母体は「学生」にある。教育活動、研究活動、社会参加、大学運営等に当たっては学生数の確保がなければならない
- ② そのため以下の三位一体の改善に取り組む
  - (i) 教学関係
    - ・ 教学内容を検討し、時代のニーズに合ったカリキュラムを創設、指導法についても改善する
    - ・ 社会参画、発表の場を積極的に取り込み、ヤル気・ホン気・コン気の育成に努める
  - (ii) 短大事務(教務課・学生課・広報課)関係
    - ・ 入試制度、入試日程、広報の在り方を検討改善する。またコースの改廃についても検討する
    - ・ 学生支援、就職支援の充実を図る。
  - (iii) 法人事務局関係
    - ・ 教育環境の点検、整備を行い、学生が学習に集中できる環境をつくる

## 2 本学の将来像

建学の精神、教育の基本理念は不易・不変なものとし、美術科・専攻科の体制を維持しつつ、時代・地域のニーズによってカリキュラム、コース編成の改革を行う。又、教育のグローバル化の中で、留学生の受け入れ、三年制大学・海外大学との連携も視野に入れた大学運営を検討する

## 3 第一次中期計画の枠組み

- (i) 運営全般
  - 外部評価懇談会の実施
  - 自己点検評価の実施と報告書作成
  - 第三者評価の受検と評価結果による改革改善施策の策定
- (ii) 教育内容・方法
  - PDCAサイクルによる点検改善
  - 毎年コースごとに学長面談の実施
- (iii) 入学者増加の施策
  - 過去の入試状況の分析と改善策の検討
  - 新コース等の検討と創設に向けた準備、コース統廃合を含むコースの在り方の検討
  - 学外ニーズの把握
- (iv) 外国人入学・留学生の受入れ
  - 他大学の状況調査と海外の日本志向情報調べ
  - 短期留学生の受入れの制度・規程の策定
  - 若干名の入学者を得て組織・運営の在り方を検討・改善する
- (v) 社会人講座
  - 短期講座の開設
  - 実技コース要項作成
  - 生涯学習へ開放

## 【檀原学院高等学校】

### 1 生徒定員数の充足の為に

現状、1,000人を超える受験者数を確保しているが、専願受験者が1割に満たない状態が続いている。少子化のなかで、専願受験者数の増加に向けて、次のような計画を設定する。

- ① 私学の独自性と小規模校のメリットを最大限に生かし、生徒個々に応じたきめの細かい指導実践を強化していく。
- ② 生徒個々の家庭環境を見据えながら、基本的な生活習慣の確立を図り、倫理観の育成と規範意識の高揚に努める。
- ③ 教職員間の意思疎通と情報共有を迅速に行い、学年を超えた生徒の実態把握に努める。  
(職員会議、学年会議、教科会議、各分掌会議の充実)
- ④ 本校生徒の実態に即した教育プログラムを構築する中で、生徒の自発的な教育活動を促し、実力と実践力を培い、確かな進路保障に繋げていく。
- ⑤ 入学試験に関わる対外的な行事において、本校の教育実践と生徒の成長、進路実績等に関わる更なるアピールの強化に努める。(在校生保護者に対するアピールも含む)

# 【聖心学園中等教育学校】

## 1 生徒定員数の充足の為に

### ① 組織・運営体制の整備充実

- (i) 組織・運営体制がその機能を十分に発揮するようなソフト面の工夫
  - ・ 一人一人の意識の向上、モチベーションを高める
  - ・ 働き方改革が叫ばれる中、私学として他校との差別化を図る  
放課後の学習補充(後期課程で、大学入試の対策の工夫)
  - ・ 優秀な教員の確保、年齢構成のバランスを図る。

### ② 教育内容の充実のための施策

「英語」と「探究活動」を2本の柱とする

- (i) 「英語」 … 6年間を見据えたグローバル教育
  - ・ 英語集中プログラムの系統的な実施  
海外研修の充実 ○オーストラリア現地校との姉妹校の締結  
○生徒・教員の長期・短期の交流(希望者)
  - ・ シンガポールでの現地校生徒との交流によるエンパワーメント研修の実施  
(希望者対象とし、奈良県の公立トップ進学校と連携して実施)
  - ・ 奈良県立国際高校とのソフト面での交流
- (ii) 「探究活動」
  - ・ 前期課程 … 地元の橿原市・明日香村との一層の連携を図る
  - ・ 後期課程 … クエストカップ等への継続的応募、本校取組の積極的PR
  - ・ 河合塾との連携(未来探求)を外部に発信

※ 理科教材についての特許を有する教員が在籍し、他行への講師派遣の働きかけや教員の集まる教科研修会での実践発表(教育委員会への働きかけ)を行う。

### ③ 組織力の強化

- (i) ソフト面 … 教員の質の向上、研修の充実、一人ひとりの意識の向上
- (ii) 発信力の強化
  - ・ 本校ホームページの充実
  - ・ 新聞の利活用
  - ・ 育友会、同窓会との連携
- (iii) 探究活動の成果の活用
  - ・ 本校教員を講師として派遣
  - ・ 進学塾・学習塾に依頼を受けて出前授業(理科)を実施
  - ・ 内閣府発刊の地域経済分析の副教材発行の編集委員が本学教員に存在する。  
今後、いろいろな場面でのPR、講演活動での広報が期待できる。

## 【聖心幼稚園】

### 1 園児数確保の為に

- ① 教育内容の充実(特色ある指導の実現にむけて)
  - (i) 少人数編成クラスの継続
  - (ii) 特別指導の充実
    - ・英会話講師の充実やプログラミング教育の導入の検討
    - ・放課後のスポーツクラブに加え、習字教室の導入の検討
- ② 情報発信と広報活動の強化
  - ・聖心幼稚園の強みや特色を周知するため、インターネットや広報誌による広報の強化
  - ・保護者会との連携



2. 事業の概要

【学校法人】

1 令和2年度の主な事業の概要

【経営ガバナンスの強化】

- ①コロナ禍の状況下、理事長のリーダーシップのもと、感染予防と学習機会の両立を図ることができた。そして、各学校園においても学校運営は適切に実施された。
- ②コロナウイルス感染予防対応で危機管理は適切に機能した。具体的には、消毒液、空気清浄機、顔認証検温器、アクリル板での仕切り板の設置等を適宜実施し、学習機会は確保された。

【教育の質の向上】

- ①今回のコロナ禍のなかで、授業動画の配信やオンライン授業について様々な方法を模索し効果的な学習機会の確保に繋がった。

【施設設備の整備充実】

- ①聖心会館の耐震補強工事を実施。これにより学内の主要建物の耐震化率は100%となった。
- ②省エネタイプのエアコンや照明のLED化、さらに非接触型の水栓への変更により、光熱水費は減少した。
- ③特定建築物定期調査を実施。今後、指摘された課題を改善に向けて検討する。

【組織力の強化】

- ①各校種間での授業連携を実施するなど、一定の成果があった。

【情報発信力の強化】

- ①法人傘下の各学校間のホームページをリンクし、知名度の向上を図った。
- ②生徒学生数の増加や学園情報の発信内容の充実等により、経常費補助金の増額に繋がった。

【財務内容の改善】

- ①中期財政計画を作成。教育活動資金収支の改善に向けて取組んでいる。
- ②学生定員数確保の為、各校種において、教育内容の充実、広報活動の強化を実施。
- ③入学者数増加、補助金の増額を目指し活動を継続する。

【地域・産業界との連携推進】

- ①連携プロジェクトの増加や地元自治体首長の講演など、学生生徒の地域への関心を高める活動を実施。
- ②こうした取組が新聞等メディアに取り上げられる機会が増加している。

【奈良芸術短期大学】

1 令和2年度の主な事業の概要

【教育活動】

(1) 運営全般

- ①基準協会指定の4基準、49部門、154項目について全教職員の自己点検評価を含めて実施。
- ②上記の結果とPDCAサイクルは報告書として纏められ5月中旬に公表予定。現在発刊作業中である。
- ③外部評価懇談会は昨年度実施したが、今年度はコロナ禍の国の方針に従ってやむなく中止した。

(2) 教育内容

- ①次年度の教育課程編成に当り、人事の刷新と教育方針を学長が示し、それによる各コースのカリキュラムを学長と教務が点検し、必要コースには学長面談による改善を行った。

(3) 入学増加の施策

- ①前年度の点検から学校訪問、出前授業、展覧会への参加(見学者として)等に重点を置いたが、コロナ禍の影響で進学者数は減少傾向にあり、結果としては、昨年度実績には今一步届かない状況にある。
- ②コロナコロナで学外ニーズ把握の状況になく、一部では書道・篆刻・水墨画・漆工芸の要望がある。

令和2年度学生募集の広報活動

活動内容	実施日	参加者(名)
コース体験	4月25日	中止
実技体験とデッサン指導	5月10日	4
	5月31日	7
	7月25日	57
	7月26日	48
	8月22日	62
	3月14日	71
入試相談会(奈良県文化会館)	9月20日	21
授業公開&入試対策ゼミナール	9月26日	18
	12月13日	16
キャンパス見学・相談会	1月21日	2
	1月31日	9
卒業・修了制作展	2月22日～24日	22
合計		337

オンライン実施

〃

(4) 外国人入学・留学生の受入れ

- ①現在検討しているが、文部科学省法令との関係もあり、慎重に取り組む要あり。更にコロナで受入者の出入国も課題のあることから、引き続き検討する。
- ②現に日本で滞在する学生には、編入・聴講生等として受け入れる。

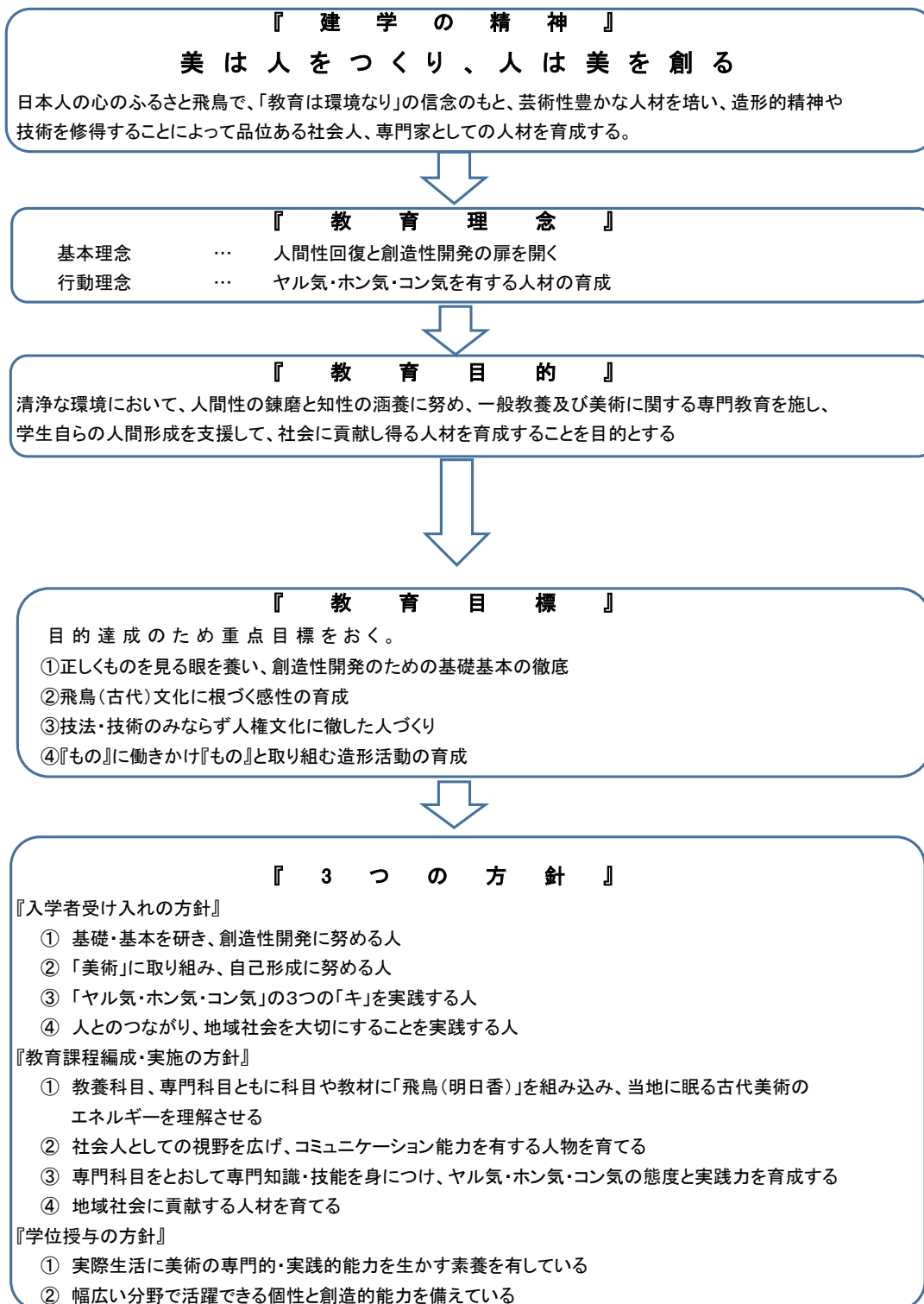
(5) 社会人講座

- ①土曜限定講座、長期間講座を改善し、参加しやすいよう工夫したパンフレットを作成した。

【施設設備整備】

- ①聖心会館の耐震改修工事完了(奈良芸術短期大学の建物の耐震化率は100%となった)  
照明のLED化、新学生ホール空調及び照明機器更新、図書館トイレの改修
- ②PC,タブレット端末 41台更新

2 奈良芸術短期大学 教育マップ



【橿原学院高等学校】

1 令和2年度の主な事業の概要

【教育活動】

本年度は、新型コロナウイルス感染拡大で、前年度3月から緊急事態宣言が発出され、生徒の健康安全を第一とする中、5月末までの間、臨時休校措置をとらざるを得ない状況となった。特に進路決定を控える3年生の全般的な指導に関し、生徒はもちろん教員側にも不安を残すこととなった。また、新入生に対する指導は学習面や生活指導面の遅れを取り戻すのに時間を要した。

一方、このような状況下であっても、新たな課題の発見に繋がるメリットや新しい生活習慣に相応しい学校教育の体制構築の契機となった面も否めない。その成果と課題を以下に示す。

①小規模校の特性を活かし、公立校よりも早い段階で授業再開に踏み切ることが出来たが、オンライン形式の家庭学習の不備等により、リアルタイムでの生徒の状況把握に課題を残したように思われる。

現在校内のWi-Fi環境の整備を行い、生徒個々に情報端末を持たせる計画を進めている。

②生徒の生活指導について、休校期間が長期化するほど実態把握が難しくなることから、学校や家庭訪問などでの、対面指導の重要性を改めて確認した。

③体育大会等の学校行事が悉く中止となり、入学式等も縮小せざるを得ない状況で、生徒のストレスの発散や解消を、何らかの方法で検討する必要がある。

④入学試験に関わる行事では、11月の入試説明会を感染予防を徹底し規模を縮小して実施した。

こうした状況下で、入試広報担当職員の尽力もあり、昨年度より約70名多い志願者があった。さらに、専願受験者の増加や美術科の入学者増加などの成果があった。

【施設設備整備】

① 校舎エントランス付近改修

② プレハブ校舎 空調機更新 4台

③ 空気清浄機21台設置、顔認証検温器4台設置(コロナ感染予防対策として)

2 令和2年度 生徒募集の広報活動状況

活動内容	場所	実施日	対象者	参加者(名)
美術とのふれあい	本校	中止	中学生	-
オープンスクール	本校	中止	中学生・保護者	-
美術科体験入学	本校	中止	中学生・保護者	-
入試説明会	THE KASHIHARA	中止	塾関係者	-
第1回美術科実技講習会	本校	10月3日	中学生	24
第2回美術科実技講習会	本校	10月24日	中学生	38
第1回入試説明会	本校	11月1日	中学生・保護者	275
第3回美術科実技講習会	本校	11月1日	中学生	46
第2回入試説明会	本校	11月7日	中学生・保護者	178
第4回美術科実技講習会	本校	11月28日	中学生	45
参加者合計				606

生徒募集活動については入試広報部を中心に学校長・教頭が中学校・塾を訪問し、志願者・入学生の確保に向けて全力をあげて取り組んでいる。また教職員が生徒の目線に立ち、活気にあふれた学校生活を実現している。さらに生徒の実態に応じ、早期テスト、受験対策講座、学習内容・方法のアドバイスなど、きめ細かい学習活動・進路指導を展開し、生徒個々の実力養成により進学実績が向上している。この様なきめの細かい指導が橿原学院高等学校のストロングポイントであり、専願志願者増加を図るため積極的に活動を展開している。

3 令和2年度卒業生の進学状況

(名)

【特進コース】

国公立大学	東京都立大学	1	都留文科大学	1
私立大学	早稲田大学	1	同志社大学	16
	関西大学	21	立命館大学	14
	龍谷大学	32	近畿大学	14
	関西学院大学	4	大阪工業大学	9
	神戸学院大学	4	摂南大学	15
	大阪医科薬科大学	1	大阪電気通信大学	2
	大阪経済大学	1	神戸薬科大学	1
	京都先端科学大学	1	武庫川女子大学	7
	京都女子大学	2	同志社女子大学	1

【標準コース】 私立大学	京都産業大学	1	近畿大学	3	
	仏教大学	1	奈良大学	2	
	龍谷大学	1	皇學館大學	1	
	摂南大学	4	大阪商業大学	2	
	帝塚山大学	2	大谷大学	3	
	阪南大学	3	奈良学園大学	2	
	大阪産業大学	1	関西福祉科学大学	1	
	梅花女子大学	1	大阪樟蔭女子大学	1	
	【美術科】 私立大学	奈良芸術短期大学	2	京都芸術大学	2
		京都精華大学	2	他	多数
4	海外修学旅行 (2年生対象)	実施せず (代替えとして、希望生徒を対象とした国内旅行実施) 行先 山形県蔵王温泉 期間 令和3年3月9日(火)～12日(金)			
5	スキー実習 (1年生対象)	行先 長野県白樺湖方面 期間 令和3年3月9日(火)～11日(木)			

### 【聖心学園中等教育学校】

#### 1 令和2年度の主な事業の概要

##### 【教育活動】

##### (1) 組織・運営体制がその機能を十分に発揮するようなソフト面の工夫

・進学校として位置付けることを、教職員一人ひとりが意識し、授業は当然ながら、放課後の学習補充(後期課程で、大学入試の対策の工夫)についても工夫を図りながら取り組んでいる。

・教員確保については、公立学校を定年退職した教員で、様々な経験と豊かな指導実績を誇る教員2名を採用した。歴史の浅い本校において、また教員経験の浅い本校教員にとっては、学習指導面のみならず教師としての在り方においても範となり、良い刺激をもたらしている。

##### (2) 教育内容の充実のための施策

本年度は、「新型コロナウイルス」の感染拡大と「緊急事態宣言」の発出による休校措置等に伴い、年間の教育計画実施に当り、特に年度当初大きな影響があった。

しかしながら、「絶対に学校を止めない、子どもたちの学びを止めない」という、本校教職員全員の決意の下、知恵を出し、声を出し、汗を流した取組によりICT機器を活用した対応ができた。

この対応については、ほんの少しの足踏みの期間はあったが、保護者・生徒対象に実施したアンケートで、「学校の取組全体の満足度」について、「(とても)満足している」という声が、生徒は87%、保護者で85%あり、概ね満足していただけた。この迅速な対応は、オープンスクールでの参加者アンケートでも評価していただき、本校の細やかな対応を認知していただいた。

◇実際の教育活動の2本柱である「英語」と「探究活動」について

「コロナ感染」拡大予防のため、残念ながら多くの活動を中止・延期とせざるをえなかったが、以下のように実施できたものがあつた。

##### ①「英語」

- ・ネイティブの英語講師を招き、感染対策を十分施し英語集中プログラムを実施
- ・オーストラリア現地校とスカイプによる交流を2回実施

##### ②「探究活動」

- ・前期課程…地元 檀原市・明日香村との一層の連携を図った

8/31 明日香村 森川村長に本校で講演いただく  
10/22 檀原市 亀田市長に本校での座談会に参加いただく

##### ・ 4年生

- ①「ENAGEED SUMMIT 2020(全国発表会)でアイデア賞を受賞(12月19日)  
(全国1122組が参加→36チーム(1次審査)→10チーム(ファイナル))

- ② 第8回ナレッジイノベーションアワード「高校生アイデア部門」佳作入選(2月下旬)(4,128件エントリー中)

##### ・ 5年生

- ①「地方創生 政策アイデアコンテスト2020」近畿経済産業局長賞表彰受賞(12月1日)  
(応募160作品の中から同賞に選出)

- ②「クエストカップ 全国大会」ファーストステージ突破(2月20日)

(3) 組織力の強化

①ソフト面

「新型コロナウイルス」の感染拡大による「学び」への影響に対して、教員一人ひとりの意識向上による取組ができた。

②発信力の強化

- ・本校ホームページで、今回のICT機器活用などの対策を配信した。
- ・本校が発刊する学校情報誌「News Letter」で、休校期間中のICT機器活用による「学習保障」また生徒・保護者の不安を解消するための「家庭との連携」「家庭訪問」の紹介をした。そしてこの情報誌を進学塾やオープンスクールの参加者に渡した。

③探究活動の成果の利用

- ・内閣府発刊の地域経済分析システム (RESAS:リーサス)の副教材編集委員の教員が存在しており、県内公立学校が主な参加になる「奈良タイム」や「総合的な探究の時間」に参加し、(生徒との共同参加もある)本校の取組を発信した。

(4) その他

- ・地元出身者の占める割合の増加  
学校を一番よく見ているのは、「受験を考える親」「塾」「地元」であり、地元出身の入学者数(受験者数)は、学校に対する評価指数となる。

<令和3年度 入学者 43名の出身地>

奈良県37人、大阪府4人、三重県・京都府 各1名

**橿原市 14人、奈良市7人、**  
 桜井市・宇陀市・大和高田市・御所市・田原本町・下市町 各2人、他1人

<合格者の地元(橿原市)出身生徒数の推移>

6人→6人→6人→4人→5人→21人→14人

【 15%→13%→13% → 9%→16%→38%→33% 】

【 】内は、その年の合格者に占める橿原市出身者の割合

今後も、地元(橿原市)への発信に努める。特に、橿原市のなかでも、近鉄大阪線沿線を最寄りとする小学校は、市内の約71%の児童(小1年生～小6年生)が居住しており、「生徒定員充足の鍵」になると思われるので、この地域にも入試広報のエネルギーを今まで以上に向けたい。

【施設設備整備】

- ① 顔認証検温器4台設置
- ② クロームブック40台設置
- ③ 校舎内の抗菌・抗ウイルス施工
- ④ 自動火災報知設備更新
- ⑤ 生徒用トイレに暖房便座、温水洗浄便座設置

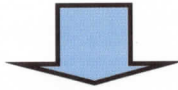
2 令和2年度 生徒募集の広報活動状況

活動内容	実施日	対象者	参加者(組)
第1回 オープンスクール	5月30日	児童(6年生)・保護者	中止
第2回 オープンスクール	7月18日	〃	61組
学習塾対象入試説明会	9月3日	学習塾	15先
入試説明会	9月19日	児童(6年生)・保護者	51組
第3回 オープンスクール	10月10日	児童(6年生)・保護者	32組
第1回聖心入試チャレンジ	10月24日	児童(6年生)	58名
第1回合格勝ち取りセミナー	11月7日	〃	48名
第2回聖心入試チャレンジ	11月28日	〃	82名
第2回合格勝ち取りセミナー	12月12日	〃	59名
合計		児童 家族	247名 144組

3 令和2年度卒業生の進学状況				
国公立大学	京都大学	2	東京外国語大学	1
	神戸大学	1	奈良女子大学	1
	岡山大学	1	滋賀大学	1
	高知工科大学	1	国際教養大学	1
	静岡大学	1	京都工芸繊維大学	1
	私立 医学部系	金沢医科大学	1	川崎医科大学
	兵庫医科大学	1	愛知医科大学	1
私立 歯学部系	愛知学院大学	1	朝日大学	1
	大阪歯科大学	1		
私立 薬学部系	武庫川女子大学	2	大阪医科薬科大学	1
	神戸薬科大学	1		
私立大学	津田塾大学	1	早稲田大学	1
	東海大学	1	東京理科大学	1
	同志社大学	8	工学院大学	1
	関西学院大学	3	立命館大学	5
	近畿大学	15	関西大学	2
	龍谷大学	8	京都産業大学	8
	同志社女子大学	2	京都女子大学	2
	佛教大学	3	帝塚山大学	3
	大阪工業大学	4	関西福祉科学大学	3
	大和大学	5		
	海外大学	ハンガリー国立医科大学	1	その他
4 海外修学旅行	実施せず			
5 スキー実習	実施せず			
6 異文化英語研修	実施せず			

## 学校を止めない、生徒の学びを止めないために

(聖心学園中等教育学校の取組)



### <4月8日(水)からの臨時休校期間中>

- ・休校後すぐに、前期課程では電子教材「すらら」、後期課程では電子アプリ「classi」により、日々の生徒の生活習慣の維持、学習課題の提供を行う。  
同時に、授業動画の配信やオンライン授業について様々な方法を模索し、オンライン授業の教員研修を幾度も実施して情報共有を図る。(YouTubeによる授業動画の配信も開始)

### <5月7日(木)より時間割に沿っての在宅学習開始>

- ・Google Classroom を本格導入し、「Zoom」を用いてクラスごとの「在宅(オンライン)学習」用時間割を定めて、朝のホームルームに始まり、定められた時間割による授業を開始。  
(オンライン上で出席・遅刻も加わり、Zoomでの出席が確認できない場合は電話などで確認)
- ・後期課程の生徒で、教員への質問、学習リズムの維持から、オンラインでの自習室開設希望があったため、仮想自習室を設けて希望に応じる。
- ・前期課程では、特に学校と「つながっている」安心感が生徒にとって大切なので、5月7・8日の両日、教員2人一組、車3台で、前期課程の全生徒を家庭訪問し、玄関先での簡単な面談、健康観察、4月当初に渡せなかった残りの教材の手渡し等を行う。  
また、「G Suite」における授業、ホームルーム、職員間連絡(職員会議等も含む)等での活用について職員研修を重ねた。
- ・オンライン授業開始に当たり、各家庭でのICT環境を把握…ノートパソコン、タブレット、Wifiルータの貸し出し開始。  
コロナ感染予防、気象警報に伴う学校の臨時休校に限らず、今後の学習等において積極的に活用するために、新規に40台のChromebookを購入。  
生徒全員が「Google Classroom」に参加できるよう、アカウントの増強を行って生徒へアカウント付与をした。  
Zoomが初期の無料コースだったため、招待できる人数に制約があったので、今後の活用を考えて、同時に100人招待(1個学年の最大生徒数とその保護者数を考慮)できるプラン設定に変更した。

### <6月1日(月)より学校再開>

- ・各クラスの生徒数が少ないので、分散登校等は実施せず、全員10時登校、16時完全下校での学習再開(50分×5限)  
このような経験を活かし、現在は「対面授業」と「オンライン授業」のハイブリッドで対応中。  
「オンライン」は、保護者説明会や面談にも活用。  
また、7月8日・9日、奈良県下に気象警報発令のため各1日臨時休校となったが、オンライン授業を実施し、学習の空白日とはしなかった。  
他にも、年間を通して授業時数の確保のため学校行事の精選を行った。  
…「体験の日・体育大会・遠足」等の中止、中間考査を4日間から3日間に、夏季・冬季休業の短縮。  
特に、本校6年生(高校3年生)に対しては、上記のような教育環境提供だけでなく、家庭との連携も密にして、面談も何度も実施するなどして、受験において、生徒や保護者が不安やストレスを持ったり、不利益にならないよう取り組んだ。

保護者・生徒対象にアンケートを実施して課題を洗い出した。  
アンケート結果では「学校の取組全体の満足度」について、「(とても)満足している」という声が、生徒は87%、保護者で85%の皆様からいただいた。

## 【聖心幼稚園】

- 1 聖心幼稚園の教育の特色について
  - 公立幼稚園と異なる聖心幼稚園のおすすめポイントはつぎのとおり
  - ①遊びも学びもどちらも大切にしている。
    - 聖心幼稚園では、遊びを大切にしながら、学びの基礎を特別指導などから身につけることができる。
  - ②基本的な生活習慣を身につける。
    - 挨拶や手洗いなど基本的な生活習慣を身につけることや、発達段階に応じた役割を担うことで、責任感と達成感を体験している。
  - ③年間を通して歯みがき指導をする。
    - 自分で磨き、先生が仕上げ磨きをする。「食べたら磨く」の歯磨き習慣は子供たちへの大切なプレゼントになる。
  - ④魅力的な「特別指導」で生き生き活動する。
    - 専門の指導者によるレッスンが受けられ、子どもの興味や関心を引き出しながら、生き生きと活動する内容になっている。
  - ⑤複数担任制でゆとりをもって保育する。
    - 二人の指導者がいることで、子どもたちに目が行き届き、**安心**して園生活が送れる教育環境を提供している。

## 2 令和2年度の主な事業の概要

### 【教育活動】

- (1) 教諭の相互連携の充実(複数担任制と職員相互の連携)
  - ・それぞれのクラスの主担任と副担任の連携をはじめ、クラスを超えた職員間の連携が進んだ。
  - サポートを必要とする時はお互いに助け合うなど、職員間の連携が園児に良い影響を及ぼしている。
- (2) 特別指導の充実
  - ・本園の特色ある教育活動のひとつに、特別指導という専門の指導者によるレッスンがある。
  - 絵画、英語(英会話)、体操、造形、書道、音楽など、園児たちの興味や関心を引き出しながら、楽しく意欲的に学べる場を提供することができた。
- (3) 幼稚園が主導する「英語・音楽発表会」
  - ・「英語・音楽発表会」の内容やプログラムを、本園職員と特別指導の専門家が意見交換し、連携して練習を行い、園児たちの生き生きとした発表の場を提供できた。
- (4) 順調な園児の成長を育む基盤の構築
  - ・複数担任により、ゆとりをもって、園児一人ひとりに適切に指導することが出来た。
- (5) 聖心幼稚園の幼児教育をさらに充実していく手立て
  - ・特別指導の内容の一部改訂 → 「遊ぼうDAY」の設定 ( 令和3年度から実施 )
  - ・支援を要する園児に対する指導力向上
  - ・プログラミング教育の導入検討
- (6) 情報の発信と広報活動
  - ・ホームページの充実
  - ・遊ぼう会(園庭開放)や園の見学についての情報配信
  - ・市内の幼児教室での募集要項等の設置依頼
  - ・小さなお子さんが訪れる施設等への募集要項等の設置依頼

### 【施設設備整備】

- ① 各教室への空気清浄機設置 7台
- ② 食堂の園児用椅子の入替 65脚

## 3 園児募集の広報活動

### 令和2年度園児募集の広報活動状況

活動内容	実施日	参加者(名)
未就園児遊ぼう会	6月8日	16
	8月5日	23
	8月20日	7
夕涼み会	7月18日	園児のみにて実施
運動会(クラスごと実施)	9月27日	100
作品展(クラスごと実施)	10月17日～18日	100
フリー参観(クラスごと実施)	11月5日	70
未就園児遊ぼう会	11月24日	12
新入園児説明会	1月30日	20
英語・音楽発表会	2月28日	120
参加者合計		468



保護者の皆様

奈良芸術短期大学附属聖心幼稚園

聖心幼稚園では以下のとおり、子どもたちが生き生きと活動できる教育環境を整えています。

## 聖心幼稚園「6つのおすすめポイント」

### 1. 全クラスが「少人数指導」です

今年度は年少組が18名・年中組が20名・年長組が16名で、全てのクラスで少人数指導を実施しています。特別指導の「英語」と「書道」については、すべての園児が個別に指導を受けたり、しっかりと活動したりできるように、さらに2グループに分けてレッスンを受けています。

### 2. 全クラスが「複数担任制」です

全てのクラスで複数担任制を導入しています。入園したばかりの年少組は特に2人の担任が協力することで、年中組や年長組も子どもたちに目が行き届き、安心して園生活が送れる教育環境を提供しています。

### 3. 特別指導で可能性を引き出し、学びの基礎を身につけます

特別指導「英語（英会話）、音楽、書道、絵画、造形、体操」の学習では、専門の講師による楽しい適切な指導により、子どもたちは毎日、生き生きと活動しています。継続は力なりと言いますが、興味を引き出すいろいろな学習を通して、子どもたちは学びの基礎を身につけ、可能性を伸ばしていきます。新たに習いごとに行く必要もなくなります。

### 4. 絵本の読み聞かせや遊びを通した学びも大切にしています

昼食後などに、絵本の読み聞かせを行っています。先生の読み聞かせで、子どもたちは目をキラキラさせながら絵本の世界に入り込んでいます。この絵本の読み聞かせは、子どもたちの豊かな感性を育て、創造性を広げています。

また、幼児は友達との遊びの中で、いろいろなことを学び、日々成長しています。特に初めて集団活動をする園児は遊びを通して人との関わり方を学んでいきます。日常的にトラブルも起こりがちですが、「喧嘩をしても仲直りができる」という体験の積み重ねが、思いやりの芽を育みます。

### 5. 年間を通して「歯みがき指導」をしています。

「食べたら磨く」の歯みがき習慣は、子どもたちへの大切なプレゼントです。聖心幼稚園では、昼食をとり始める5月から3月まで年間を通して歯みがき指導を進めています。まずは自分で歯をみがき、最後に先生に仕上げみがきをしてもらいます。

### 6. 保護者負担月額がこれまでの3分の1になりました

国の幼児教育無償化事業が導入され、保護者の保育料等の負担が軽減されました。別紙「幼児教育無償化実施のお知らせ」には、幼児教育無償化が実施された後の「聖心幼稚園での実質保護者負担月額」を紹介していますのでご確認ください。

★聖心幼稚園が「いい感じの幼稚園だな」と思われたら、ぜひ見学にお越しください。  
子どもたちの実際の様子をご覧ください。（事前予約：0744- 27- 0392）